

# ビジネス・デザイン・スクール (WORK中心実践スクール)

---



第2期生 募集

講師：株式会社サンクイット 代表取締役

寺澤慎祐 氏

英国ウェールズ大学 組織行動論、リーダーシップ 講師  
中央大学 国際情報学部 講師  
オープンソースソフトウェア協会 理事

## スクール活動の概要

・ビジネスデザインスクールは、従来の成功ビジネスモデルや既存のビジネスルールから一旦離れ、壊すことで自企業の真の強みを探り、顧客課題視点で新しいビジネスを創造する人の育成を目指します。  
また、一方的に教えるではなく、折角学んだ知識を実利するためのコーチングを行います。  
従来のビジネスフレームで正しいと言われていた論理性や理性による意思決定ではなく、直感や感性による意思決定や方向付けの方が有益だというアート思考に共感し、直感や感性を磨きます。

社内に潜在的に存在しているイントレプレナー（社内起業家）の能力の火を既存企業文化によって消さないように、イントレプレナー同士で刺激しあえるコミュニティを形成することを目指します。

イントレプレナーとなる基礎的要件を学ぶ（複数年度で習得）

アート思考、ポジティブ心理学、リーダーシップ、デザイン、マーケティング、交渉術、プレゼンテーション、戦略



**参加対象** 企業内にいる「変わり者」(ビジネスモデルを再構築を考えている人)  
事業責任者や経営者から権限委譲された新規事業開発責任者  
事業責任者や経営者

**参加費用**

・A B C協会の会員企業	99,000円
・会員企業以外	110,000円

**開催日程** 全6回 15:00~18:00 (6月~3月)  
合宿テーマ「創造的破壊によるビジネスモデル検討会」開催予定 最低催行人数 6名 \*費用は別途  
スクール最終回には スクール修了証を発行いたします

# ビジネス・デザイン・スクール コンセプト

ビジネスクリエイティブではなくビジネスデザインである理由

## DESIGN = DE + SIGN

DE : 「離れる」や「下」という意味。離れることから「否定」も意味する

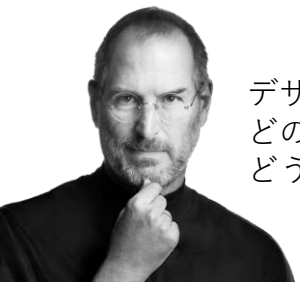
SIGN : 符号、記号、信号、合図、手まね、身ぶり、標識、標示、掲示、看板

## アート思考とストレンクス思考

ゼロから作り出された技術や製品やビジネスモデルが注目されているが、組み合わせもイノベーションの重要なやり方であり世の中の成功はここにあります。日本は既存の技術や商品を組み合わせたり、サービスや製品プロセスの改善をすることが得意だと言えます。

つまり、日本人の強みは「全く新しいものを作り出す創造性」ではなく「既存のものをよりよくなる拡張性」であると考えます（**ストレンクス思考**）。

不得意な創造性をなんとかして頑張らしましょう！というのは時間がかかります。ストレンクス思考とは程遠く効果的であるとは言えません。やはり、**日本企業の強みにフォーカスすることが重要です。そのためには、ビジネスをデザインすること**（現状を否定して作り替えたりすること）であり、その中心的な考え方は**アート思考**だと考えます。



デザインとは、単にどのように見えるか、  
どのように感じるかということではない。  
どう機能するかだ。

雨が降れば傘をさせばよい

必ずしも全く新しいものを生み出す必要はなく、  
社会が必要としているものを提供すれば良い

